

年4回発行

SMC

発行 SMC税理士法人
埼玉県所沢市日吉町18-26
所沢FSビル5F
TEL 04-2924-7775

冬 1月

2026

第108号

あなたの企業の繁栄と共に！・・・それが願いです。



今号のトピックス

Imagine

○【朗報】「失われた30年」からの復活

お客様ニュース

○ 石和設備工業 様

SMCニュース

○ 個別相談会のご案内
○ スタッフ新年の抱負

相続の情報なら！
所沢遺産相続サポートセンター
ホームページ



SMC税理士法人 ブログ
「儲けのためにできること」





【朗報】「失われた30年」からの復活 ～時代認識の共有～

明けましておめでとうございます。

昨年あたりから引き続き、私たちは今、時代の大きな転換期を迎えています。これから先に描かれる日本の歴史年表に、「失われた30年の終わり」と記されるような大きな変革期の渦中にあるようです。

1. 新自由主義の終焉

1990年ごろから始まった新自由主義（人種・属性・国境を越えて、政府が干渉せず、自由競争、経済合理性を追求する世界観）は、人々の間に大きな格差を生んだ結果、その信認を失いました。新型コロナのサプライチェーン分断をきっかけに、2022年以降日本企業の国内投資は100兆円の大台を超え、対外投資を大きく上回っています。新自由主義の下、海外に生産設備を移転し、国内での人的投資を抑制し続けたのが「失われた30年」とすると、その逆流が始まっています。

2. 失われた30年とは何だったのか？

終身雇用・年功序列という成功体験を捨てきれなかった日本は、主にバブル入社組の5人でやれる仕事を10人でシェアした働かないおじさんたち（もちろん、本人たちはそのつもりはない）を抱え、30年間じっと辛抱し続けてきました。

限られた給与原資をみなで分け合ってきたので、給料は30年間ほとんど上がりませんでした。給料が上がらなければ、社会はデフレになります。

2023年には、ずっとゼロだった春闘におけるベアが30年ぶりに復活しました。これは、極端な人材不足による需要と供給のバランスもありますが、働かないおじさんたちの給料が、役職定年や定年再雇用によって抑制され、若い人に回すことができるようになった結果です。

日本企業は、30年の「重し」が外れて、本格的に「人材・設備・株」への投資を始めました。

これからの日本経済は、相対的によくなっていきます。

3. 極端な人手不足で給料をまともに払えない企業が淘汰される

新自由主義の終焉とともに、民間企業の給料に政府が介入をはじめました。これはゾンビ企業（いわゆる適正価格以下で仕事を受注する迷惑な会社）を排除するための間接的な施策です。**給料が安い会社には人が留まりませんから、自然淘汰されます。**今、建設業や不動産業の倒産が増えています。失業率は上がっていません。失業率が上がらなければ政府は国民から文句を言われることはありませんから、適正な企業数になるまで（おそらく今の2/3ぐらいの企業数）政府の介入は続きます。

4. インフレと給料のリバランスに数年かかる

物価高と給料のバランスが整うのに数年かかるでしょう。

たとえば、日米の上場企業の経営者の給料を比較すると、アメリカの経営者の報酬は社員の300倍、日本の経営者の報酬はだいたい15倍～20倍、せめて日本も50倍ぐらいにはしようと経済界では言われているようです（50倍ルール）。

中小企業は肌感覚で1.5倍程度です。せめて5倍ぐらいにしても罰は当たらないように思います。

インフレについていけない企業が淘汰されるのに3～5年。その間、**しっかり給料が上げられる企業に人が残り、激しい過当競争を避けられるようになって、いずれ適正価格が復活します。**

関根の職業人生のほとんどは、「今日よりも明日のほうが悪くなる」という悲観バイアスの中で生きてきましたが、最近ちょっとだけ今後が楽しみです。

政府が経済の旗振りをし、生産性の高い事業に集中投下する新しい社会では、どこに自分の身を置くかが大事になってきます。優秀な経営者とそうでない経営者の違いは、**どこにフォローの風が吹いているかを見極めて、そのド真ん中に自分の身を置くかどうかの違いではないか**と思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。（参考：「世界秩序が変わるとき」齋藤ジン）



お客様 ニュース

石和設備工業様

日本商工会議所の情報誌月間『石垣』で紹介！

特集 **“新3K事業”に人と仕事が集まる**



代表取締役 小澤大吾様



水回りから、家全体のリノベーションに広がる事例も少なくないとのこと

給与・休暇・希望を備えた“新3K企業”として石和設備工業様が紹介されました。2019年に立ち上げたトイレ広告事業（目に見えない水道工事を毎日目にするトイレでPR）は各メディアで紹介され、ベストアクション表彰など数々の賞を受賞されています。こうした水道工事業のイメージアップにも通じる取組みにより、最近の求人募集では5人もエントリーがあったとのこと。「地域交流を大切にしつつ、水道工事業に魅力ややりがいを感じる人を増やしたい」と小澤社長はおっしゃいます。社長の熱い想いは多角的に人の輪を広げ、人材確保や業績アップにつながっています。

SMCニュース Part1

相続税の申告・不動産売却の確定申告
個別相談会開催！

予約制

日時 **1月22（木）**

時間 9：30～16：30

場所 SMC税理士法人

予約申込：0120-307-339

ご家族でホッなお話し合いはできていますか？

確定申告の準備は進んでいますか？



私たちが親身に対応いたします。

相談
無料

こんな方に
オススメ！

相続税がかかりそう
不動産を売却したけど
確定申告がわからない
なるべく税金をおさえたい

相続税がかからないから相談はいらない、とお考えの方が意外と多くいらっしゃいますが、最近は調べてみると少し税金が発生するケースも増加しています。相続税がかかる場合は、亡くなってから10ヶ月以内に税務署に相続税の申告や税金の納付をしなければなりません。

すでにご家族が亡くなられて相続税申告が必要な方（または相続税申告が必要か不明の方）、不動産を売却された方で確定申告が必要な方など、ご相談をお受けします。お気軽にお問合せ下さい！

予約申込み時に「SMC通信を見た」とお伝えいただくとスムーズです。



本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます



堺 友樹

働いて、働いて、
働いて、働いて、
働いて、働くのみ



土肥 宏行

人生は出会いで決まる
といいます
出会えた人、これから
会う人との縁を大切に
したいです



工藤 正悟

「自分が出したアイデア
を、少なくとも1回は人
に笑われるようでなけれ
ば、独創的な発想をして
いるとは言えない」
byビル・ゲイツ



中瀬 拓哉

「明日やろうはバカやろ
う」の精神で、働いて働
いて働いて働いて働いて
まいります



江原 智恵子

「もう」ではなく
「まだ」の気持ちで新
しい経験を増やすとと
もに、良い習慣も増や
していきたいです。



中澤 正裕

発想にひと捻り。
新たな価値を拓く
一年とします。
本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

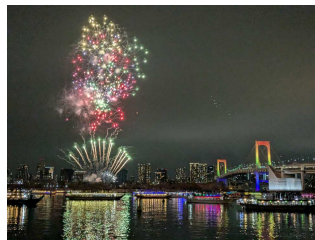


丹下 優子

今日が人生で
一番若い日！
やりたいことはやっ
てみよう！の気持ち
で過ごします。

SMCニュース Part2

日帰り社員旅行で屋形船に乗船してきました。この日はタイミ
ングよく花火も見られて良い旅に。お花見シーズンも楽しめそ
うですね 🌸



編集後記

「失われた30年」がまるごと社会人という、デフレ慣れした氷河期世代からすると、インフレを代表する昨今の大きな変革には、正直戸惑う部分もあります。
ただ、大抵のことはなるべく楽しんで受け入れられるようになってきたのは、年齢を重ねた利点でしょうか。
2026年、駆け抜ける馬のごとく、共に飛躍の年を迎えられますようお祈りいたします。

next

春号
4月